

リビン・テクノロジーズ調べ “駅近の定義は8.2分”

リビン・テクノロジーズ（東京都中央区、川合大無社長）は、「駅近は徒歩何分までか」を調査した。運用する不動産関連の比較サイト「リビンマッチ」の首都圏在住の利用者180人を対象に調べたところ、アンケート全体の回答から駅近の定義は「徒歩8・2分」となった。徒歩分数別で見ると、「10分」（31・1%）が最も多く、「5分」（25・0%）と続き、この2つの回答で5割を超えた。

「住むなら駅から徒歩何分までが許容範囲なのか？」も聞いたところ全体の平均は10・2分となり、「10分」が4割を占めて最も多く、「15分」（23・9%）、「5分」（12・2%）、「16分以上」（7・8%）と続いた。

「駅からどのくらい離れると遠くて住めないと思うのか？」では、全体平均23・5分となり、最多は「20分」（29・4%）だった。「15分」（17・8%）、「26〜30分」（12・8%）、「31〜35分」（9・4%）、「10分」（7・2%）と続いた。回答者の自宅からの徒歩では、実際10分以内の距離にいる居住者が47・3%だった。全体平均は13・6分と駅から自宅までの許容徒歩圏内を3分ほど超えていた。